

資料6 陸上競技場について

## 1. 四ツ池公園陸上競技場について

現況調査報告書(平成29年3月)を一部修正

## ◆公園の現況

### ■スポーツエリア

#### <陸上競技場>

- ・ 陸上大会等での利用
- ・ 学生・一般の方が陸上の練習

#### <野球場（浜松球場）>

- ・ 各種大会等での利用
- ・ 団体での利用
- ・ 合宿やトレーニング など

#### <自由広場>

- ・ 陸上競技大会時のアップ練習場
- ・ 地域住民の活動や憩いの場
- ・ ターゲットバードゴルフ・グラウンドゴルフ
- ・ ランニング
- ・ ウォーキング など

### ■公園エリア

#### <四ツ池>

- ・ 釣り
- ・ 散策
- ・ ウォーキング など

#### <芝生広場>

- ・ 子供連れの散策
- ・ 休憩 など



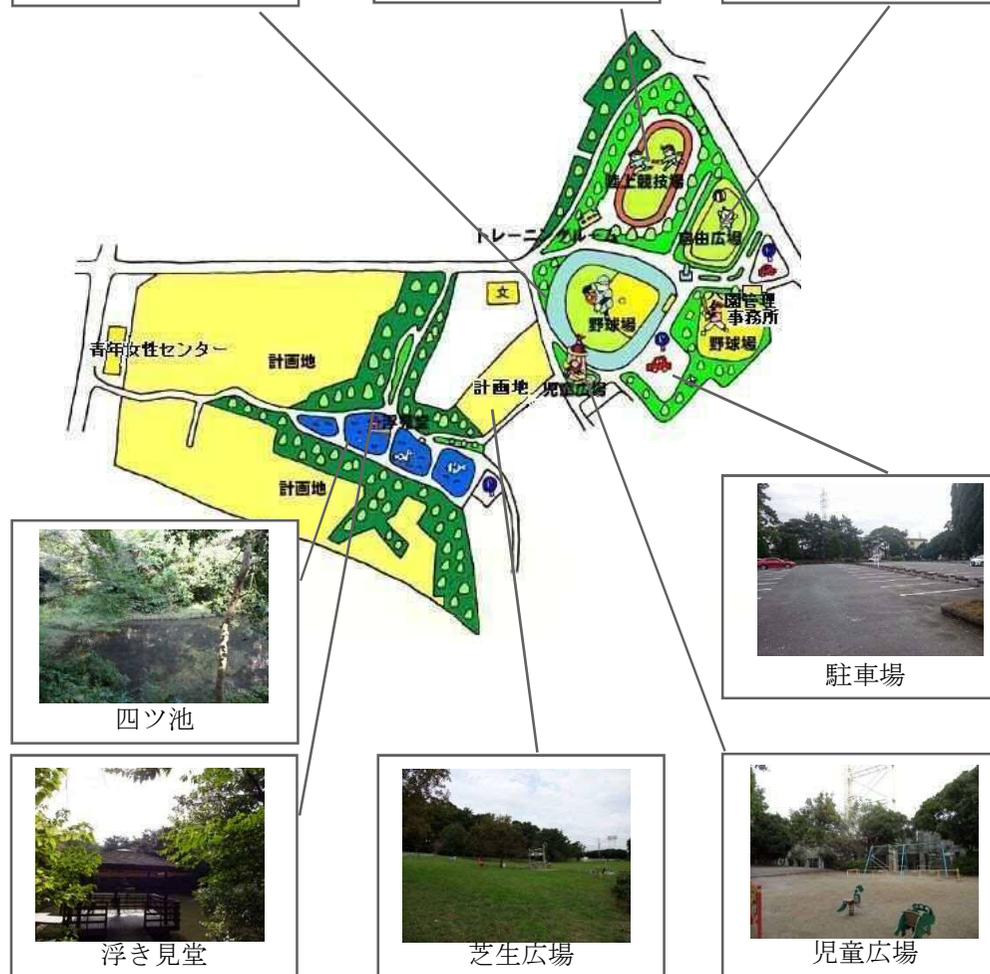
野球場（浜松球場）



陸上競技場



自由広場



四ツ池



浮き見堂



芝生広場



駐車場



児童広場

## ◆陸上競技場の概要

規 格	第2種公認陸上競技場
走 路	1周400m 8コース 全天候舗装
収 容 人 員 ( 公 称 )	合 計 : 10,000人 メインスタンド : 1,600人 芝生スタンド : 8,400人
年間利用者数	令和 3年度 : 162,060人 令和 2年度 : 75,628人 令和元年度 : 211,005人 平成30年度 : 243,482人 平成29年度 : 232,667人
主 な 利 用 大 会	西部陸上選手権大会(県予選) 西部高校陸上選手権大会 浜松市中体連(夏季総体) 浜松市小学校陸上大会 浜松シティマラソン 浜松みんなのスポーツまつり このほか、市内小中学校運動会、小学校陸上大会で年間20日間ほど使用

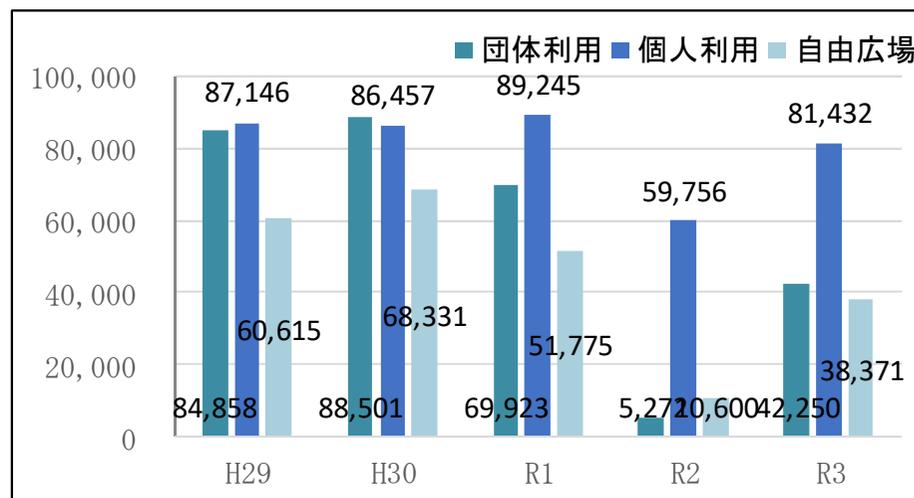


建替え当初の陸上競技場（昭和56年）

## ◆陸上競技場の利用状況

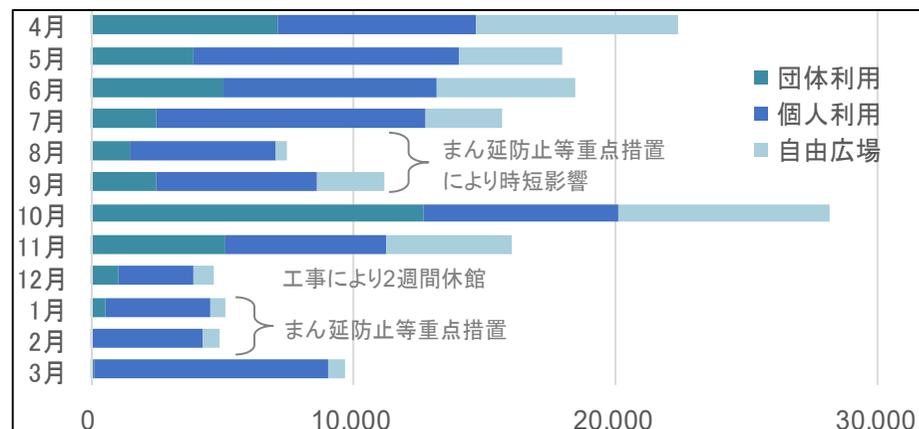
### ア) 年度ごとの利用者数の推移

- ✓ コロナ以前は、年間総利用者数が20万人を超えていた。
- ✓ 団体利用よりも個人での利用が多い。
- ✓ 密集を避けられるような待機スペースが少ないため、大会等の団体利用の利用率が回復していない。



### イ) 月別利用者数の推移（令和3年度）

- ✓ 例年、春・秋の大会開催時期には、団体利用が多くなり、8月や3月の学校の長期休業中には団体利用が減少している。
- ✓ まん延防止等重点措置などの影響により8・9月や1・2月の利用が減少している。



### ウ) 年代別利用団体の構成（令和3年度）

- ✓ 指定管理者に対して団体登録を行っている団体は87団体で、そのうち中学校・高等学校が72団体となり学校の部活動で主に利用されている。
- ✓ 平日の夕方は、複数校が訪れ日々練習に励んでいる。
- ✓ 社会人・実業団チームにも利用されており、全国・世界大会で活躍する選手を育てている。

登録団体の種類	登録団体数
小学生	5
中学生	41
高校生	31
大学生	1
一般	9
合計	87

## ◆ 日常利用における課題

---

### A) ナイター照明

- ・ 視界が利かないところがあり、事故やケガを心配する声がある。

### B) 諸施設

- ・ 洋式トイレが少ない。
- ・ 更衣室は面積が狭く、個々に区切られたロッカーが用意されていない。

### C) メインスタンド

- ・ 学校や団体の待機場所に使用されるが、多くの団体が使用する場合はあふれてしまうことが多い。
- ・ 管理棟とメインスタンドの間に段差10cm程の不等沈下が起こっている。
- ・ 崖線からの地下水の湧出量が多く、スタンド下の諸室の湿気が高い。荒天の時には諸室内に水が溜まることがある。

## ◆大会開催における課題

### A)メインスタンド

- ・学校等、団体単位での待機・応援場所が不足している。

### B)駐車場

- ・大会役員や各チームが用具運搬で必要となる車両も制限が必要。
- ・野球の大会と重なると大混雑となる。

### C)諸施設

- ・トラック周辺に余裕がないことから、レース前の選手確認に必要な待機場所などが不足している。

### D)サブグラウンド

- ・サブグラウンドは自由広場を利用するが、一般利用者もいることから、安全確保の点からもアップゾーンとしては適していない。
- ・走路は狭く土舗装であることから、正式なサブグラウンドとしては適していない。
- ・4レーン直走路のアップゾーンがあるが、参加者数の多い大会などでは狭く、全力での練習には不向きである。

## 2. 陸上競技場の規格

## ◆公認規格

出典：日本陸上連盟陸上競技ルールブック2022より作成

		第 1 種	第 2 種	第 3 種	第 4 種(L)
1周の距離		400m			400m (200m,250m, 300m,400m)
距離の公差		+1/10,000以内			+各40mm以内
走路 ※幅1m220 (共通)	直走路	8レーン又は9レーンとする。 長さ115m以上		8レーンとする。 長さ114m以上	6レーン以上 とする。 長さ114m以上
	曲走路	8レーン又は9レーンとする。		6レーン以上 とする	4レーン以上 とする
障害物競走設備		必 要		無くても可	
補助競技場		全天候舗装400m 第3種公認陸上競技場	全天候舗装の競技場が あることが望ましい	無くても可	
各種跳躍場 および 各種投てき場		以下A・B・C・Dに記載	以下A・B・C・Dに記載	1カ所以上	1カ所以上で 条件に合わない 場合は一部の 施設を欠く ことができる
ただし、円盤投とハンマー投サークルは兼用してもよい					
A 棒高跳びの助走路 ならびにボックス席		Aゾーン、Bゾーンのい ずれかに2カ所または4カ所、 アウトフィールドのバック スタンド側に2カ所または 4カ所の合計6カ所以上	4カ所以上		
B 走幅跳、三段跳の 助走路ならびに砂場		メインスタンド側または バックスタンド側（イン フィールドでもよい）に6 カ所以上	メインスタンド側または バックスタンド側（イン フィールドでもよい）に 6カ所以上		

	第 1 種	第 2 種	第 3 種	第 4 種
C 投てき用芝生	延長最大106m×73m 条件（※1）に適合する 競技場のみ、延長最大 107m×73mまで認める。	延長最大106×73m		
D 砲丸投げ	芝生に投てきするサークル を2カ所以上設置する。 その他、AゾーンまたはB ゾーンのいずれかに扇形の 投てきエリアをつくること ができる。	AゾーンまたはBゾーン のいずれかに扇形の投て きエリアを設置する。 その他、芝生に投てきす るサークルを1カ所以上 つくることことができる。		
収容人員	15,000人以上 (芝生席を含む) 屋根付き7,000人	5,000人以上 (芝生席を含む) 屋根付き1,000人	相当数	
車椅子席	車椅子席を設置する。またその動線を確認する。 席数は条例その他法令等の規定に従うものとする。		規定なし	
更衣室	300人以上収容 し得ること	100人以上収容 し得ること	利用できる設備があ ることが望ましい	無くても可
ウエイト・トレーニング 場	必要	無くても可		
雨天走路	メインかバックスタンド側 にあることが必要。舗装材 は競技場と同一にする	設備することが 望ましい	無くても可	

- (※1) 【条件】
- ① 多目的仕様として認める第1種公認陸上競技場。
  - ② 全投てき種目における決勝の実施が可能であること。
  - ③ 全国で47カ所以内

	第 1 種	第 2 種	第 3 種	第 4 種
トラックとフィールドの舗装材	全天候舗装の施設を要する			土質でも可
インフィールド	天然芝・投てき実施可能な人工芝とする			土質でも可
夜間照明	1m220の高さで平均照度1,000Lx程度 フィニッシュラインは1,500Lx以上	設備することが望ましい。 フィニッシュライン付近は写真判定に支障の無い明るさ	規定なし	
電光掲示板	設置することが望ましい。 全国大会規模の会場では、仮設でも可。	あることが望ましい。 競技会の条件として電光掲示板を必要とするときは、仮設でも可。	規定なし	
電気機器等の配管	設備を要する		設備があることが望ましい	無くても可
用器具庫	2カ所以上で合計500㎡以上必要	第2種～第4種(L)ではそれぞれの種別に示す用器具を収納できるようにする		
記者席	フィニッシュライン上方の観客席に設置し、通信機器の設置が可能な施設とする	仮設でも可	規定なし	
監視カメラ	12カ所を必要とする	12カ所を必要に応じて用意する	規定なし	
浴場またはシャワー室	男女各2カ所以上		利用できる設備があることが望ましい	無くても可

	第 1 種	第 2 種	第 3 種	第 4 種(L)
競技場の撒排水設備	降雨直後の使用が可能なこと。砂場、芝生等の管理に必要な数			無くても可
競技場と場外との境界	競技場の荒廃毀損を防ぎ、競技会の際の混雑を防止し得る程度の堅牢な境界が必要		無くても可	
観覧席とトラックとの間の境界	観覧席からみだりに競技場内に入出りできないように設備する		無くても可	
競技場にて開催できる競技会の種別の標準	日本陸連が主催する日本陸上競技選手権大会、国民体育大会等の全国規模競技会及び国際的な競技会	加盟団体等が主催する選手権大会及び主要な競技会並びに日本陸連が承認し主催する競技会	加盟団体等が主催する競技会	加盟団体等の競技会・記録会
管理者	設置することが望ましい	規定なし		
役員休憩場	必要	確保することが望ましい	規定なし	
公認料 (継続の場合半額)	880,000円	495,000円	165,000円	55,000円
公認有効期間中にその種別を昇格する場合	新たに承認した種別に該当する公認料の差額を納付すれば、当該有効期間満了まで引き続き公認とする。			

# ◆全国における公認陸上競技場の整備状況

## 1) 都道府県別の整備状況

- ✓ 静岡県を含め4つの自治体が同一都道府県内に、複数の第1種公認陸上競技場を設置している。

神奈川2 静岡2 大阪3 兵庫3

※種別の記載は、日本陸上競技連盟の公認規格による分類であり、『多目的』以外の競技場でも、陸上競技以外に使われている場合がある。

競技場数

令和4年2月16日現在

地域	都道府県名	競技場数					地域	都道府県名	競技場数					
		1種陸上	1種多目的	2種	3種	4種			1種陸上	1種多目的	2種	3種	4種	
北海道・東北	北海道	1	0	6	10	4	関西	滋賀	0	0	1	3	4	
	青森	1	0	2	2	2		京都	1	0	2	3	3	
	岩手	1	0	2	3	1		大阪	1	1	2	4	2	
	宮城	0	1	0	6	1		兵庫	3	0	2	4	12	
	秋田	1	0	2	6	1		奈良	0	1	1	1	1	
	山形	0	1	1	4	2		和歌山	1	0	0	1	3	
	福島	0	1	1	8	3		小計	6	2	8	16	25	
	小計	4	3	14	39	14		鳥取	1	0	1	2	2	
関東	茨城	1	0	2	6	0	中国	島根	1	0	2	3	6	
	栃木	1	0	2	3	3		岡山	1	0	3	3	1	
	群馬	1	0	2	4	3		広島	0	1	5	3	3	
	埼玉	1	0	2	6	6		山口	0	1	1	1	4	
	千葉	1	0	3	12	6		小計	3	2	12	12	16	
	東京	0	1	3	12	11		四国	香川	1	0	1	2	1
	神奈川	0	2	6	7	4			徳島	1	0	1	2	0
	山梨	1	0	2	3	1			愛媛	0	1	1	2	3
小計	6	3	22	53	34	高知	1		0	1	3	0		
北信越	新潟	0	1	6	4	4	小計	3	1	4	9	4		
	長野	1	0	4	3	4	九州・沖縄	福岡	1	0	4	5	2	
	富山	1	0	3	2	0		佐賀	0	0	0	5	1	
	石川	1	0	4	4	3		長崎	0	1	2	2	2	
	福井	1	0	2	4	0		熊本	0	1	1	3	5	
小計	4	1	19	17	11	大分		0	1	2	2	1		
東海	静岡	1	1	4	5	2	宮崎	1	0	1	5	1		
	愛知	0	0	1	10	3	鹿児島	0	1	0	6	6		
	三重	1	0	1	2	1	沖縄	1	0	1	8	1		
	岐阜	1	0	1	5	3	小計	3	4	11	36	19		
	小計	3	1	7	22	9	合計	32	17	97	204	132		

出典: 日本陸上競技連盟ホームページより作成

## 2) 政令指定都市別の整備状況

- ✓ 20ある政令指定都市のうち、第1種公認陸上競技場（陸上専用及び多目的）を設置していないのは、仙台市、さいたま市、相模原市、浜松市、堺市の5市となっている。
- ✓ 名古屋市はパロマ瑞穂スタジアム（第1種陸上専用）を解体し、2026年オープンに向けて新たに建設中。

競技場数 ※（）内は市営の数

令和4年2月16日現在

都市名	第1種 陸上専用	第1種 多目的	第2種	第3種	第4種	小計
札幌市	1(1)	0	1(1)	1(1)	0	3(3)
仙台市	0	0	0	1(1)	0	1(1)
さいたま市	0	0	0	1(1)	0	1(1)
千葉市	1	0	1	1	0	3
相模原市	0	0	1(1)	0	1(1)	2(2)
横浜市	0	1(1)	1(1)	2(1)	1	5(3)
川崎市	0	1(1)	0	1(1)	0	2(2)
新潟市	0	1	1(1)	1	1	4(1)
浜松市	0	0	1(1)	0	0	1(1)
静岡市	1	0	0	3(2)	0	4(2)
名古屋市	0	0	0	1(1)	0	1(1)
京都市	1(1)	0	0	1(1)	1	3(2)
大阪市	1(1)	1(1)	0	0	0	2(2)
神戸市	1(1)	0	0	1(1)	0	2(2)
堺市	0	0	1(1)	0	0	1(1)
岡山市	1	0	0	2(1)	1	4(1)
広島市	1	1(1)	0	1(1)	2	5(2)
北九州市	1(1)	0	0	2(1)	0	3(2)
福岡市	1(1)	0	0	3(2)	0	4(3)
熊本市	0	1	1(1)	1	1	4(1)
合計	11	6	8	23	11	55
(市営計)	(6)	(4)	(7)	(15)	(1)	(33)

出典：日本陸上競技連盟ホームページより作成

## 3.静岡スタジアム エコパについて

## ◆ 配置図

出典：公式ホームページを加工

 360°ボタンをクリックするとパノラマ画面をご覧いただけます。



## ◆種別等（スタジアム）

出典：公式ホームページを加工



- トラック：400m 9コース（全天候型舗装）  
種別：第1種公認陸上競技場（JAAF）、クラス2（IAAF）  
種目：短距離走、中長距離走、走幅跳、三段跳、走高跳、棒高跳、ハードル、各投てき、ジョギング、ウォーキング
- フィールド：107m×72m 天然芝（Jリーグ基準対応）  
種目：サッカー、ラグビー、コンサート等
- 収容人数：50,889人（固定席：45,653人、可動席：5,236人）
- 設備：大型映像装置、ナイター照明



## ◆サブグラウンド

出典：公式ホームページを加工

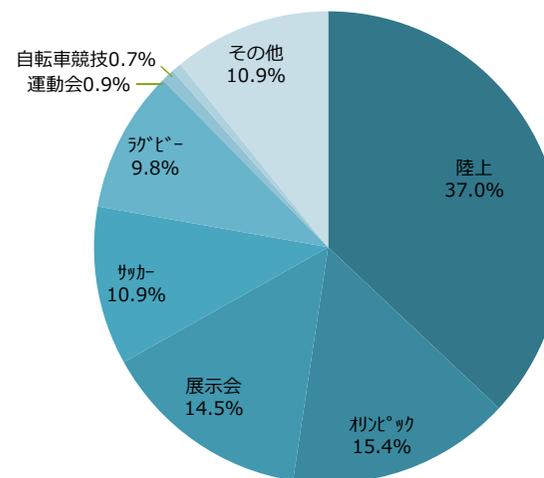


- 利用種別：陸上競技場、サッカー、ラグビー
- 公認：第3種公認陸上競技場（球技場兼用）
- トラック：1周400m×69m 全天候型舗装
- フィールド：106m×69m 天然芝
- 設備：ナイター照明（300ルクス）

## ◆利用状況

- ✓ 陸上の割合が最も多く、日本グランプリシリーズの一つに位置する静岡国際陸上が毎年開催されている。
- ✓ オリンピック事前キャンプの受入れや五輪写真展の開催など、オリンピック関連の割合が全体の3割を占めている。
- ✓ ジュビロ磐田や静岡ブルーレヴズなどのプロの公式戦も開催されている。
- ✓ その他として県内の小・中学校の施設見学の受入れなどを行っている。

令和3年度 種目別利用状況



主な 利用 大会	<b>陸上競技 (89/232日)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡国際陸上</li> <li>・西部月例陸上競技大会</li> <li>・静岡県高校総体陸上大会</li> </ul>
	<b>サッカー (23/232日)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Jリーグ公式戦</li> <li>・天皇杯第101回全日本サッカー選手権大会準々決勝</li> <li>・全国高校総体サッカー競技静岡県大会</li> <li>・全国高校サッカー選手権大会 静岡県大会 決勝</li> </ul>
	<b>ラグビー (22/232日)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーグワン公式戦</li> <li>・リポビタンDチャレンジカップ2021 日本代表VSサンウルブズ</li> <li>・第101回全国高校ラグビー選手権静岡県大会決勝</li> </ul>